

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力
スピタメン行政郡ノヴ地区第28中学校改修計画
供与式報告

平成26年9月24日、「スピタメン行政郡ノヴ地区第28中学校改修計画」の供与式を行い、石川書記官が出席しました。スピタメン行政郡は、首都ドゥシャンベ市より295km北方にあり、人口は15,000人を数えます。

本計画では、行政郡中心地より約3km離れたノヴ地区にある第28学校の大規模改修を行いました。同校では500人以上の生徒が学んでいますが、計画実施前の校舎は、雨漏り、床の陥没、配電システムの故障などが頻繁に生じており、生徒が快適に学習に専念するのが困難な状況でした。

今回日本の支援により校舎の大規模改修が行われたことで、同校の学習環境は大幅に改善しました。また本計画実施に伴い、スピタメン行政郡が老朽化していた机・椅子・黒板などの学校備品を一新。安全で快適な学習環境が構築されました。



供与式参加のため新校舎の外に整列する生徒達。歓迎の日本語バナーが設置されていました。



改修された校舎の外観。入口の左右に、校舎改修前と改修後を表した校舎の写真が掲げられていました。



改修された教室の様子。本計画実施に伴い、被供与団体であるスピタメン行政郡が教室内の机・椅子等備品を刷新しました。



改修された学校トイレ。清潔なトイレが整備されたことにより、学校の衛生環境が大幅に向上しました。